

# 三重県尾鷲市の防災対応

第2回防災気象情報の改善に関する検討会

平成25年1月22日

# 尾鷲市の風水害対策の大前提 ⇒【明るいうちの早めの避難】

平成21年 山口県防府市や兵庫県佐用町の事例により

平成21年10月台風18号			平成24年9月台風12号		
10月6日	11:00	消防団への早期対応指示(防潮扉の閉鎖時間、災害時要援護者対応)	9月1日	21:09	大雨警報 同時に災対設置
10月6日	16:00	災害時要援護者施設への注意喚起、連絡体制構築	9月2日	12:50	暴風警報
10月7日	8:30	自主防災会長へ注意喚起	9月2日	14:00	明るいうちの避難呼びかけ 警報発表からの連続雨量50mm 時間雨量も平均10mm以下
10月7日	10:00	病院と連携し透析患者への対応開始	9月4日	3:45	河川水位上昇による注意喚起
10月7日	15:00	災害対策本部設置	9月4日	5:20	一部河川の水位上昇による避難 勧告(地区限定)
10月7日	16:00	明るいうちの避難呼びかけ (避難準備情報)			
10月7日	18:47	暴風警報			
10月7日	21:36	大雨洪水警報			

# 避難体制構築の取り組み

行政の避難勧告が出ていなくても、地域の避難ルールに基づき、早めの避難を行う。また、防災隣組を組織し地域ぐるみの避難を心がける。

### 土砂災害に関する基礎知識

**■降雨時には、特に土砂災害の発生に注意しましょう**  
土砂災害の多くは、水（降雨、地下水）が関与しています。次のような雨が降ったら、土砂災害が発生する危険性が高いので注意して下さい。

**1時間に20mm以上の雨** ……車のワイパーを動かしても前が見えにくいほどの強い雨  
**連続雨量で100mm以上の雨** ……雨が降り出してから、10cmのコップがあふれる

**■日頃から斜面の様子に注意しましょう**  
一部だけ植生が異なる地点は、崩壊跡地の可能性が高いです。日頃から斜面や崖、沢の様子に注意して、次のような状況を見現したら、土砂災害の発生に注意して下さい。

**■前ぶれ（予兆現象）に注意しましょう**  
土砂災害が発生する前には、予兆現象が見られることがあります。大雨が降ったときには、自宅周辺の様子に注意して、次のような状況を見現したら、直ちに区長に報告し、避難を開始して下さい。

**◇がけ崩れの発生前には…**

- がけに割れ目が見える
- がけから水が湧き出ている
- がけから小石がばらばら落ちてくる

**◇土砂流が発生する前には…**

- 山鳴りがする
- 急に川の流れが濁り流木が漂っているのに川の水が下がる
- 雨が降り続いて濁り流木が漂っているのに川の水が下がる

**◇地すべりの発生前には…**

- 沢や井戸の水が濁る
- 地面にひび割れができる
- 斜面から水が噴き出す

**◇この他にも…**

- 「地鳴り、木根のちぎれる音、岩の割れる音などがする」
- 「もの腐ったような臭い（腐葉土、下肥の臭い）がする」
- 「小動物が異常行動（掘ぐなど）をとる」

などの現象が見られることがあります。

### 尾鷲市古江地区 土砂災害緊急避難方法

**■いざというときは、防災隣組ごとに協力して避難する**  
高齢化が進み、一人で避難することが困難な住民が増えています。そのため、古江地区では、各世帯の『一人で避難することが困難な方』、『そのような方への避難の支援に協力できる方』などを考慮して、防災隣組をつくりました。各組ごとに、日頃からお互いの様子に注意しあい、いざというときには協力して避難してください。

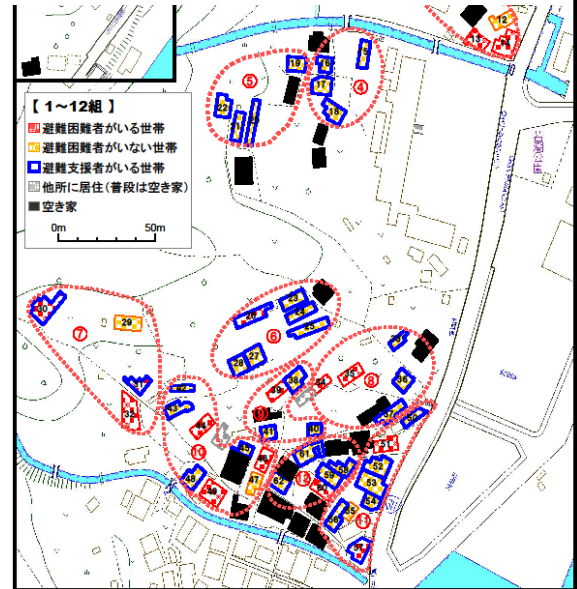
**■ゲリラ豪雨のような、局所的集中豪雨の場合**  
局所的な集中豪雨は、突然発生するため、予測が困難であり、行政からの情報だけでは不十分です。そのため、以下のような自主避難を開始する基準を考えました。

**連絡を受けた住民は、防災隣組ごとに協力して、避難場所(古江公民館)に避難する**

※避難しようとした際に、すでに道路が冠水したり、土砂災害が発生してしまっているような場合には、近くの堅牢な建物に一時的に避難するなどの、状況に応じた対応を各自で判断してください。

**■伊勢湾台風のような、巨大台風襲来時の場合**  
巨大台風が襲来する場合には、上陸の36時間前にはほぼ完全に予測できます。そのため、以下のような、早い段階での古江地区外への避難方法を考えました。

市役所の指示に従い、防災隣組ごとに車に相乗りして、避難場所(古江地区外)に避難する



# 課題

- 大雨、暴風時の住民への情報伝達には限界がある。また、住民の避難行動も困難な状況が多い。(防災機関の現場対応も同じ)

⇒ 明るいうちの早めの避難を徹底していくため、防災気象情報についても、避難のタイミングを考慮した発表。事前にある程度予測可能な台風等は、ランク分けし進路上の地域に事前に避難勧告を出すような仕組みも必要では。